

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	佐賀市立思斉中学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫校として、合同の職員会議や研修会等を行い、児童生徒理解や授業改善を図っている。次年度も小中お互いに研究授業を行うなど、指導方法改善を図り、家庭学習の習慣化と内容の充実を図る指導を継続していく。 ・小中連携をさらに充実させ、義務教育最終年度の目指す生徒像を共有し、9年間を見通した児童生徒の育成を図っていく。また、様々な交流活動や地域学習を通して9年間で地域や母校への愛着・自尊心を育んでいく。 ・全体的には落ち着いた学校生活を送っているが、「挨拶」に課題があり、次年度も家庭や地域と課題を共有し、連携しながら改善を図っていく。 ・学校行事をはじめとして、様々な活動を通して、生徒一人ひとりの自己肯定感を育んでいく。 ・教職員の不祥事防止はもとより、業務改善を図り、教職員の資質向上に継続して努めていく。
------------------	--

2 学校教育目標	「見賢思斉」の精神で、たくましく未来を切り拓く児童生徒の育成 ～小中一貫教育の推進を通して～
----------	--

3 本年度の重点目標	(1) 知・徳・体のバランスの取れた生徒の育成 (2) 小中連携による教育活動の充実 (3) 地域と協働する学校づくり
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
	取組内容	成果指標(数値目標)							
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・個々の能力を伸ばすようなきめ細かな指導の充実 ・朝読書・朝自習・表現タイム等の定着と推進						
	○「自ら考え判断し、表現できる児童生徒」を育成するための授業改善	○「授業が楽しい」と思える生徒が85%以上 ○課題に進んで取り組む生徒85%以上 ○家庭学習や課題の提出率が95%以上	・基礎・基本の定着の徹底 ・分かりやすい授業のための指導方法改善 ・家庭学習の定着に向けた指導						
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○無言清掃・係の仕事・ボランティア活動等に積極的に取り組む生徒が80%以上 ○先生や地域の方、友達に元気に挨拶をしている生徒が80%以上	・QUを活用した学級づくり ・道徳・学活の計画的な実施と充実 ・生徒会活動の促進 ・ひまわり講座の実施						
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○「学校が楽しい」と回答する生徒が90%以上 ○友達と協力する気持ちや思いやりをもって接していると回答する生徒が80%以上 ○いじめ防止について組織的な対応ができていると回答する職員が90%以上	・人権集会やいじめ・いのちを考える日の開催 ・毎月の「心のアンケート」の実施 ・教育相談の定期を含めた実施及び充実 ・SC、SSW、サポート相談員との連携、報連相のスピードアップ ・いじめ対応に関する研修の充実						
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒80%以上	・学校行事をはじめとして、生徒一人ひとりの活躍の場の提供 ・進路学習の充実 ・生徒一人ひとりの自己肯定感を高める取り組み						
	◎郷土を誇りに思う教育	◎母校や郷土を誇りに思うと回答する生徒が90%以上	・小中一貫教育の推進 ・小中合同協議会の定期開催及び共通理解の促進 ・地域連携の推進						
●健康・体づくり	●「運動習慣の改善や定着化」 ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ●「安全に関する資質・能力の育成」	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒80%以上 ●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒80%以上 ●交通安全教室や防犯教室での講話を自分事として捉え、避難訓練を通して命を守る行動について理解できた生徒が80%以上	・部活動方針に沿った活動設定および健康維持管理能力の向上 ・規則正しい生活(食事)、適度な運動習慣を身につくような指導の充実 ・保健便りの定期発行による健康に関する意識の啓発 ・交通安全教室等を実施し、安全意識の向上を図る。						
	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減 ○コンプライアンスの意識の向上	・出勤端末の入力の徹底し、自分自身の時間外勤務の実態を把握 ・各自のタイムマネジメント力の向上 ・データや資料等の整理保存の徹底 ・職員会議毎に「ゼロの日」の実践の継続 ・講師を招き、服務に関する研修会の実施						

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
	取組内容	成果指標(数値目標)							
○特別支援教育体制の充実	○一人一人の能力や目標に応じた進路保障	○特別支援教育など個に応じた指導を行っている教職員は80%以上	・全教職員で共通理解及び校内体制づくり ・特別支援教育に関する職員研修会等の実施 ・保護者との連携						

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--